

# 若者の意識に関する調査報告書

平成21年12月

新潟市教育委員会 生涯学習課

## 目次

<b>I 調査概要</b>	3
1. 調査の目的	4
2. 調査の設計	4
3. 調査の項目	4
4. 集計・分析にあたって	4
5. 回収結果	5
6. 回答者の特性	6
<b>II 調査結果</b>	9
1. 自身のことについて	10
(1) 現時点での自身について	10
(2) 自立について	12
(3) 周囲とのコミュニケーションについて	14
(4) 生きていくうえで重視することについて	18
(5) 共感や影響を受ける対象	19
(6) 悩みや心配ごとについて	20
2. 一緒に過ごしてきた家族のことについて	22
(1) 生育過程における家族との関係	22
(2) しつけについて	25
3. 学校や職業のことについて	27
(1) 学校や学習について	27
(2) 働くことについて	29
4. 地域社会との関わりについて	34
(1) 近所づきあいについて	34
(2) 地域社会における、学校や仕事以外の活動について	35
5. その他	36
(1) 新潟市における施設について	36
(2) 今の日本社会で特に問題だと思うこと	38
6. 自由記述（概略）	39
<b>III 調査結果の考察</b>	40
<b>IV 調査票</b>	51

# I 調査概要

## 1. 調査の目的

本市の若者の意識と現状を把握し、自立支援等にかかる施策検討の参考とするため、本調査を実施する。

## 2. 調査の設計

- (1) 調査地域：新潟市全域
- (2) 調査対象：平成 21 年 6 月 30 日現在の住民基本台帳に登録されている  
15 歳以上 30 歳未満の市民
- (3) 標本数：2,500 人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳からの層化無作為抽出（回収率は 46.7%）
- (5) 調査方法：郵送法（調査票の配布、回収とも）
- (6) 調査期間：平成 21 年 7 月 27 日～8 月 7 日

## 3. 調査の項目

- (1) 自身のことについて
- (2) 一緒に過ごしてきた家族のことについて
- (3) 学校や職業のことについて
- (4) 地域社会との関わりについて
- (5) その他

## 4. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで 100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 数値（%）は小数点第 2 位以下を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないこともある。
- (3) 複数回答の設問は、回答が 2 つ以上ありうるので、合計は 100%を超えることもある。

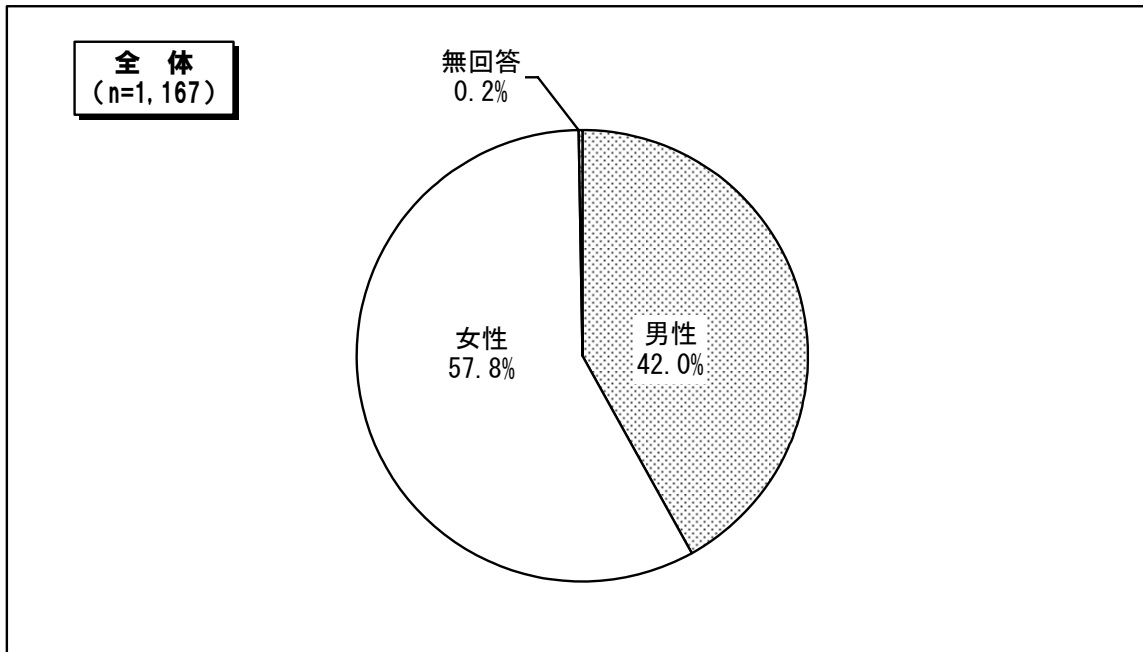
## 5. 回収結果

地区		区分	母集団数	構成比% (母集団)	標本数	有効 回答数	回収率%
市 全 体			128,592	100.0	2,500	1,167	46.7
性 別	1 男 性		64,702	50.3	1,263	490	38.8
	2 女 性		63,890	49.7	1,237	675	54.6
	性無回答					2	
1 北区			13,080	10.2	254	116	45.7
2 東区			21,978	17.1	427	198	46.4
3 中央区			27,535	21.4	535	237	44.3
4 江南区			10,845	8.4	211	110	52.1
5 秋葉区			11,814	9.2	230	109	47.4
6 南区			8,154	6.3	158	78	49.4
7 西区			25,212	19.6	491	230	46.8
8 西蒲区			9,974	7.8	194	86	44.3
居住区無回答						3	

回収率は、男性よりも女性のほうが1割以上高い。  
地区別は、江南区や南区での回収が他区に比して多い。

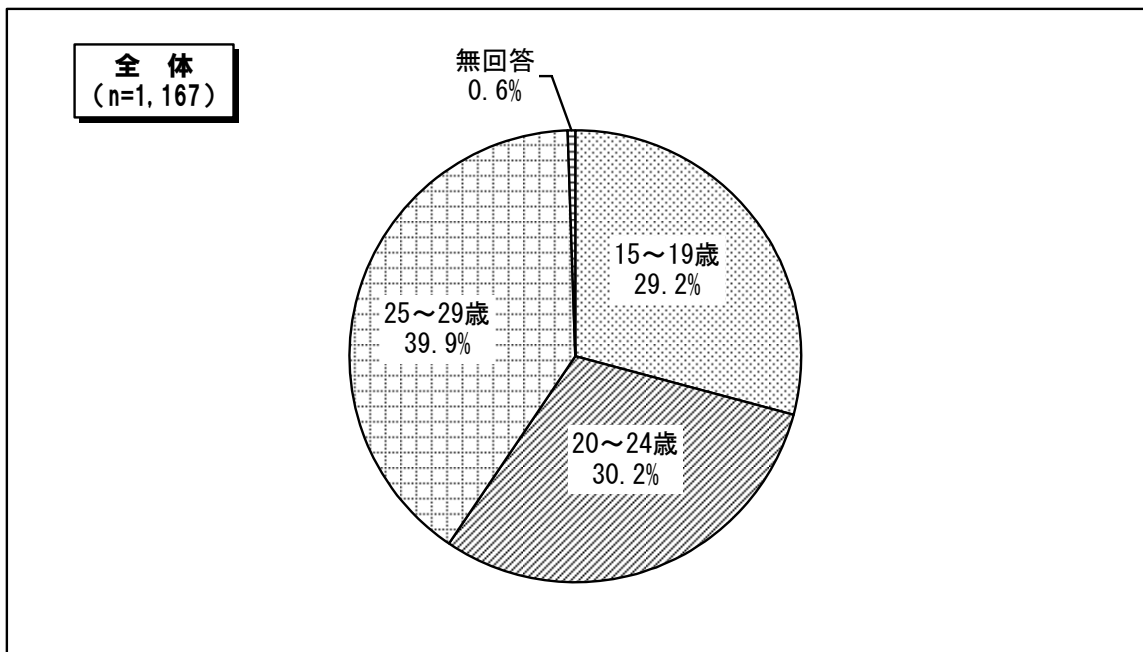
## 6. 回答者の特性 (n=1,167)

### ◆ 性別



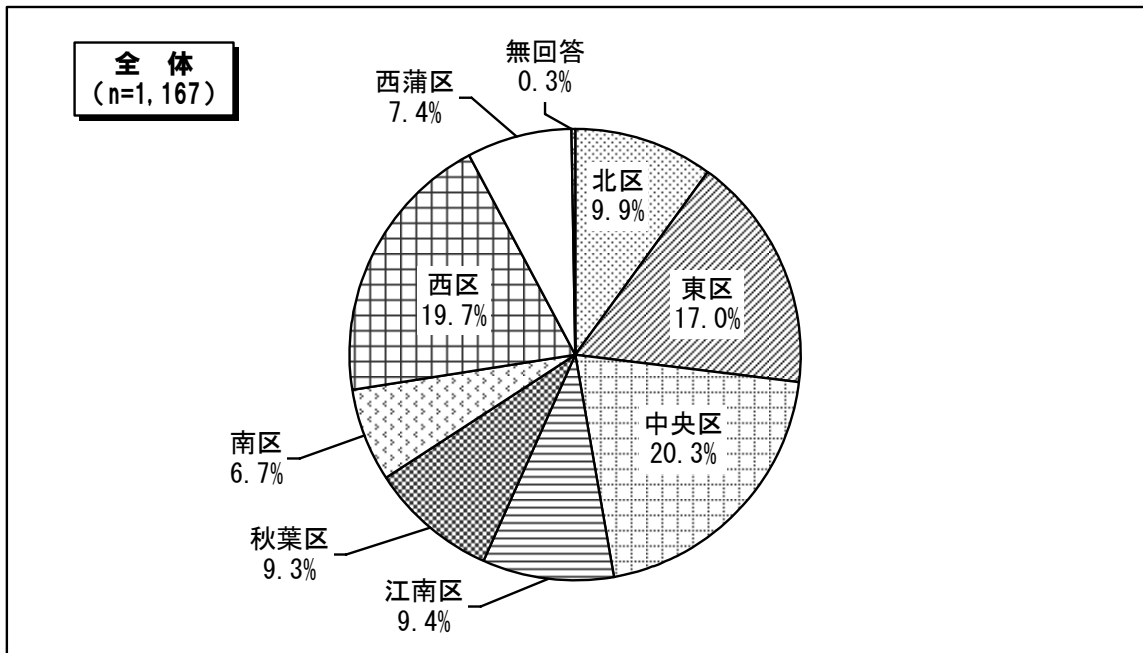
回答者の構成は、「女性」が多めで6割弱を占める。

### ◆ 年齢別 (平成21年4月1日現在)



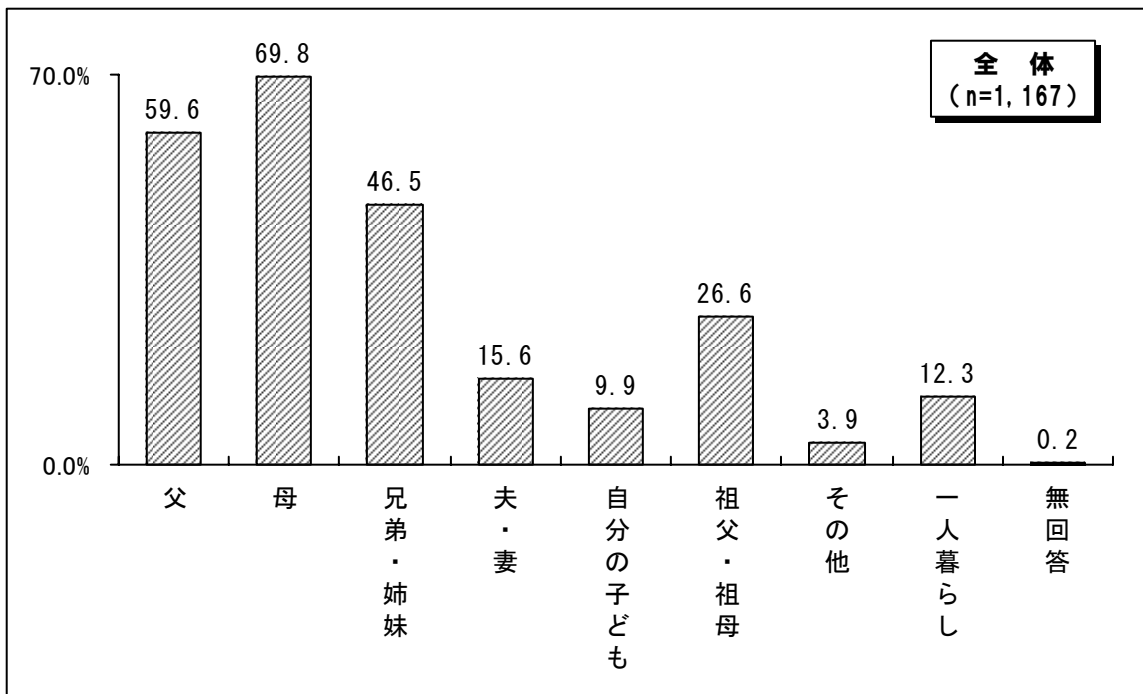
「25~29歳」が約4割、「15~19歳」及び「20~24歳」が約3割ずつである。

◆ 居住区別



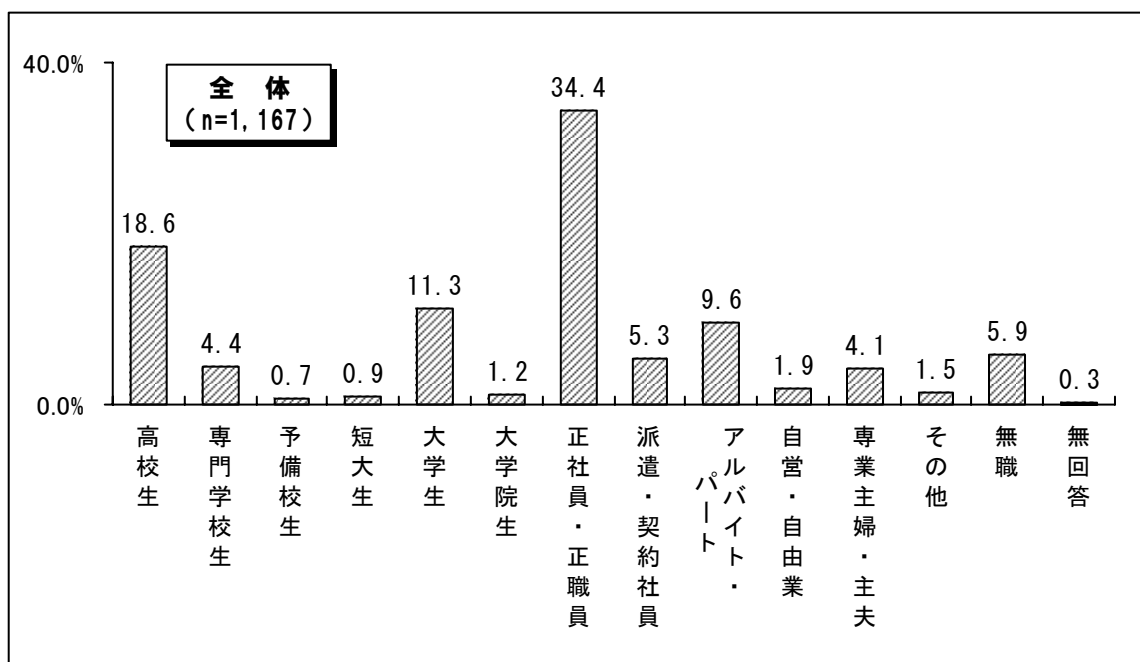
「中央区」および「西区」が約2割ずつ、続いて「東区」が2割弱を占めている。

◆ 同居している家族



『両親や兄弟・姉妹』との同居が多く、概ね4人に1人は「祖父・祖母」と同居している。

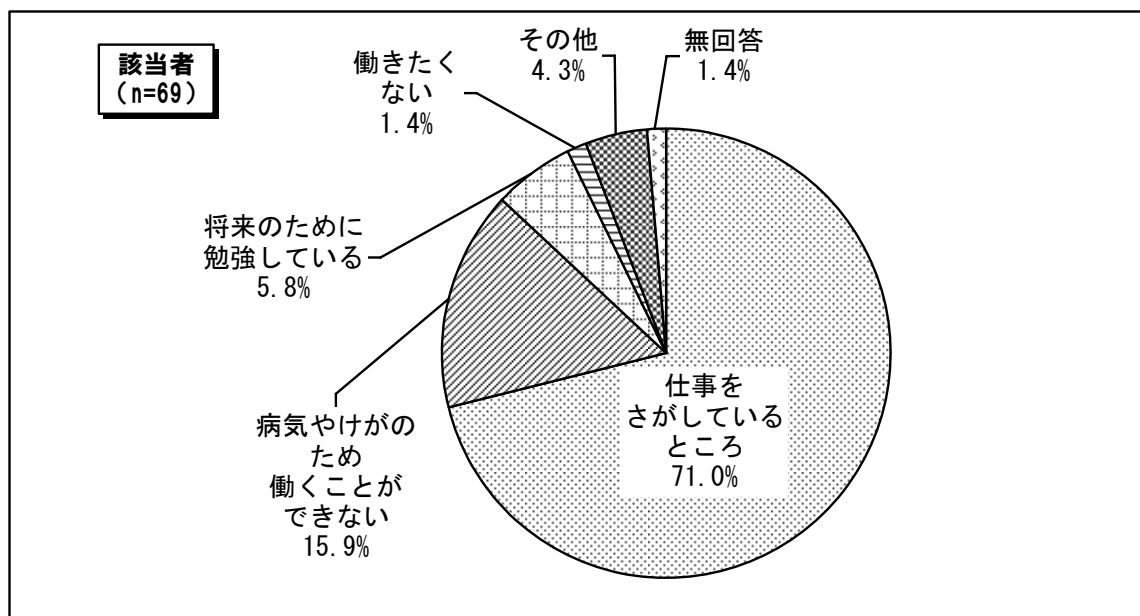
◆ 職業別



「正社員・正職員」が3割強で最も多く、「正社員・正職員」、「派遣・契約社員」、「アルバイト・パート」を合わせた『雇用者』が約5割(49.3%)、「高校生」から「大学院生」までを合わせた『学生』が4割弱(37.1%)である。

その他は、「公務員」(4名)などである。

◆ (職業別で「無職」と回答した人のみ) その理由



「仕事をさがしているところ」との回答が、約7割を占めている。

その他は、「仕事を探す為に勉強している途中」「結婚を控えている為」「8月末、就職予定」(各1名)である。